

地域情報化アドバイザー制度活用報告書（1日目）

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	大津市企業局	代表者名	山極 正勝
担当者部署	企業局	連絡先電話番号	077-528-2921
担当者役職	主査	担当者氏名	早瀬 薫
		連絡先E-mail	
住所	520-8575 滋賀県大津市御陵町3番1号		

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	森戸 裕一
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	他都市や国等の動向や最新事例を交えたDXの基本的な内容の説明に加えて、事前に提供していた大津市の各種計画や大津市からの質問に対しても、具体的にアドバイスをいただいた。
アドバイザーへの要望事項	特になし

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）	活動時間（分）
3-1. 活動	2021年6月7日	10時00分	12時00分		120
	派遣形態	講演（オンライン）			

4. 報告書に関してのAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果		
5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	一般部局・企業局の職員	12人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点 （具体的にご記入下さい）	DXや働き方改革を進めていく上で、これらの取り組みに対する職員の意識の温度差が大きく、これまで通りの業務の進め方から脱却が難しい。	
支援により目指す成果 （具体的にご記入下さい）	職員一人ひとりがDXや働き方改革の必要性を認識し、自らBPRや業務の効率化に取り組むことで、職員の満足度と市民サービスの向上を目指す。	
アドバイザーに支援を受けた内容 （具体的にご記入下さい）	DXや働き方改革を進めていく上で広報戦略が大切であること、課長や係長のマネジメント能力が無いとDXや業務見直しは進まないということを学んだ。 また、これまでの仕事の進め方や内容を変えたくないと感じる職員等への対応の方法についても具体的にアドバイスもらった。	
支援を受け改善又は解決された内容 （具体的にご記入下さい）	これまでに策定した各種計画について、今回の内容等を踏まえてブラッシュアップをし、次回に向けて職員へ周知等を行う。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 （具体的にご記入ください）	特になし	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。（EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。） アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。	
	別添のとおりです	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	⑤その他
事業の最終的な目指す姿	今回のアドバイスの内容等を基に今後も継続して取り組み、職員の意識醸成とDX・働き方改革・広報戦略の推進を図っていく。	
6. 地域情報化アドバイザー支援の様子		

